

わが職場

弊社は大正七年創立以来、肥料、食品、石油、LPガスと時代の変化に対応した事業を展開してまいりました。地域密着と単一事業に特化しない姿勢を信条として、現在は、食品・エネルギー・環境の三部門を中心に、「事業は人なり」を理念とし、「信用」を第一に掲げております。今年の五月十九日には、会社創立九十五周年を迎え、記念事業として本社リニューアル工事に着手しました。

主な事業として食品部門は、ハムやソーセージを「シコクハム」のブランド名で四国一円はもとより京阪神方面に販路を伸ばし、好評を博しています。また、業務用の小麦粉や砂糖、麺類の販売も順調に売上を伸ばし、原料から商品まであらゆる商品を取り揃えて消費者のニーズに応えられるよう努力しています。

このほか、新居浜市の学校給食用パンを委託製造しているほか、北海道

帯広市に支店を構え、大豆の販売にも取組んでいます。

エネルギー部門は、観音寺と新居浜の両市に拠点をもち、産業用、家庭用石油製品及びLPガスを供給しています。

昨年十一月には観音寺サービステーションをセルフ化してリニューアルオープンし、地域の皆様のカーライフ全般をサポートしています。

環境部門としては、大正七年創立以来、肥料の卸問屋として発展を続けてきた肥料部門は農業の変遷に伴い、取扱商品も肥料から関連資材、農薬にいたるまで拡大し、新規商品開発やゴルフ場などの緑化関連資材にも注力しています。また、当社の倉庫屋根に太陽光発電を設置して売電を開始する等、新エネルギーへの取組みも行っています。

このほか、家庭、オフィス、お店への水宅配サービスや地域の皆様に安心ライフをお届けするため、各種生命保険と損害保険の企画、販売をお客様の立場に立って提案しております。

さて弊社の安全衛生活動についてですが、社内労働安全衛生委員会を設置して、全国労働安全週間には、労使一体での社内パトロールを実施して、労働災害防止の重要性についての認識を深めるとともに、安全活動を実効があるもののできるよう改善に努めています。さらに、交通事故の防止、運転技術の向上を図り、会員相互の親睦を図ることを目的に設立したマルシ交通安全協会では、定期的に交通安全の啓蒙チラシを社内に回覧したり、交通事故を防止するための各種講習会、研修会を開催したり、定例会議を開催して、無事故表彰や新規活動案等の意見交換を図っています。

弊社にとって、安全衛生活動については、取組むべき課題がたくさんありますが、全社一丸となって安全体制の構築に努め、災害の未然防止と快適な職場環境が作れるよう頑張っていきたいと思っております。

四国物産株式会社

経理部長 橋本 朋憲